

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】(中学校用)

都道府県名	鹿児島
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	上屋久町立宮浦中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	2	2	1	6	15
生徒数	32	43	47	1	123	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力の向上のための指導はどうあればよいか ~基礎・基本の定着とともに, それをもとに自ら学び考える力の育成を図るために
---

2. 研究内容と方法

( ) 実施学年・教科

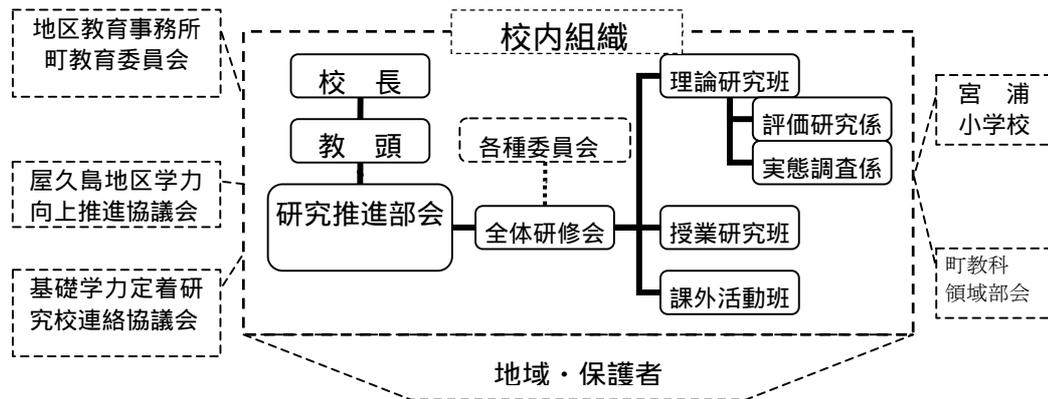
実施学年・教科	全学年・全教科
実施した理由	全職員で取組をすすめるため

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p><b>1 テーマ</b>  <b>確かな学力の向上のための指導はどうあればよいか</b>                  ~基礎・基本の定着とともに, それをもとに自ら学び考える力の育成を図るために~</p> <p><b>2 仮説</b>                  各教科領域等の基礎・基本を明確にし, 適切な評価と指導をすることで, 指導内容・方法の整理・改善がなされ, 指導力の向上につながるのではないかと。                  ② 指導方法の改善により, きめ細かな指導ができれば, 確かな学力を身につけることができるのではないかと。                  補充学習等の課外活動を充実し, 家庭と学校の連携を図れば, 基本的な学習習慣が身につく, 自ら学ぶ力の育成につながるのではないかと。</p> <p><b>3 研究内容</b>                  研究授業を通して, 確かな学力を育成するための指導内容・方法を改善する。                  個に応じた指導の具体的な方策を明らかにする。                  各種テストの工夫と実施を通して, 指導と評価の一体化を実現する。                  「確かな学力」の定義とその育成のための取組の方針を明らかにする。                  各教科領域等の評価規準および評定基準を作り, 基礎・基本を明らかにする。                  諸検査および実態調査を通して, 生徒の実態と教職員の实態を明らかにする。                  読書の機会を設け, 読む力, 考える力の育成を図る。                  補充学習の機会を増やし, 授業外の活動による確かな学力の育成を図る。                  家庭との連携・家庭学習の内容と方法を研究し, 学習習慣の定着を図る。</p>
--------	--

平成16年度	平成15年度のテーマを継続研究する。
--------	--------------------

### (3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

#### 1. 研究の成果

基礎・基本を明確にすることにより、教師は、学習のポイントを的確に把握でき、指導や評価に生かすことができるようになった。また、生徒にとっても学習のポイントがはっきりし、何を、どれだけ学習すればよいか分かり、学習しやすくなった。

少人数による習熟度別学習は、個に応じたきめ細かな指導につながることを確認できた。

1単位時間の授業の中で学びを振り返り、自己の成長を確認することが基礎・基本の定着に有効であることが確認できた。

基礎・基本をまとめた小テストの積み重ねと、それを活用した定期テストの取り組みや反復練習は、基礎・基本の定着に効果的であることが確認できた。

テスト前の助け合い学習など、時期に応じた特設の時間は効果的であることが確認できた。

#### 2. 今後の課題

明確になった基礎・基本を、確実に定着させるためにはどのような手立てが必要であるか、実践を通して明らかにする取り組みが必要である。

確かな学力につながる基礎・基本であるかを検証する。

少人数学習・習熟度別学習をさらに工夫・改善するとともに、自主的な学習習慣の確立を育成する。

「学習の心得10か条」など、学習活動の基本を評価に生かし、生徒一人一人が自己の成長を確認し、自らを向上させていく意識をもたせる必要がある。

自主的な学習習慣が身についていない生徒に対する家庭学習の習慣化を図る取り組みが必要である。そのために、保護者の協力を得る手立てを工夫・改善することが不可欠である。

個別指導などの補充学習は、特に習熟度の低い生徒には有効であるが、生徒・教師ともに教科や時期・時間等、無理なくできる体制づくりが必要である。

### 学力把握のための学校としての取組

標準学力テスト（NRT）の実施（4月）  
定期テストの実施（年間4回）  
実力テストの実施（年間4回）  
学習に関する意識調査（生徒，教師）  
学力に関する調査（生徒，教師，保護者）  
学習状況実態調査（生徒）

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

学力向上推進協議会  
日時 平成16年1月29日(木) 場所 宮浦中学校  
協議 学力向上フロンティアスクールの事業の推進  
学力向上フロンティアスクール研究公開（中間発表）  
日時 平成16年2月10日(火) 場所 宮浦中学校  
フロンティアスクールの取組の成果と課題を本校保護者及び地区小中高に提供する。

次の項目ごとに，該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】  15年度からの新規校      14年度からの継続校
- 【学校規模】                      3学級以下                       4～6学級  
   7～9学級                      10～12学級  
   13～15学級                    16学級以上
- 【指導体制】                       小人数指導                       TTによる指導  
   その他
- 【研究教科】                       国語                       社会                       数学                       理科  
    外国語                       音楽                       美術                       技術・家庭  
    保健体育                      その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                      無